2023年度　事 業 計 画 書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人　ホロコースト教育資料センター

【1】事業実施の方針

本年度も、一人ひとりの命と人権を尊ぶ心を育み、寛容で公正な　社会を築くため、第二次世界大戦とホロコーストの歴史を教材とした教育活動に取り組みます。

グローバル化にともない、多様な文化や人との関わりが増えていく一方で、排他主義や狭義の愛国主義の考え方が広がる傾向があり、街角のヘイトスピーチやネット上のホロコースト否定論は日本国内で存在しています。歴史修正主義や否定論が、ヘイトスピーチや差別、偏見を助長する側面があることにも大きな危機感があります。新型コロナウィルス感染症の拡大に伴う差別や偏見の広がりも見られます。前年度からの上記の課題を念頭に置きつつ、人権を尊重する、寛容な心を育む教育に取り組んでいくことが2023年も急務であると考えています。

2019年に中期目標(2019～2023年)として定めた下記の基本方針に基づき、今年度も対面とオンラインと両方で、学校訪問授業や自主事業に取り組みます。

(1) 差別や偏見を自分事として考える

すべての人が平和と豊かさを享受できるようにするため、2015 年に国連は、持続可能な開発目標（SDGｓ）を採択しました。「世界を変えるための17の目標」のうち、目標4「質の高い教育をみんなに」に含まれる人権教育やグローバル・シティズンシップ教育を推進するため、ユネスコはホロコーストを教材とした教育活動を支援しています。Kokoro はこの国連の精神に基づいて、子どもたちの寛容な心を育み、共生の時代を担う地球市民を育成することを目指しています。この理解をより一層広め、歴史の教訓を自分事として捉えられるように、対話やワークショップなど参加型の学びの時間を作っていきます。

(2) 世界と歴史への広い視野を育む

ホロコースト史を教材とした学びを通して、第二次世界大戦の歴史と記憶への広い視野を育むことを目指して取り組んでいきます。Kokoro 理事の故黒川万千代氏が自らの広島での被爆体験やアジアでの戦争の歴史を語り続けた精神を今後も引き継ぎながら、歴史へのたくましい想像力を子どもたちが育むことができるように、ユダヤ難民のヨーロッパからアジアへの逃避行や、ナチ・ドイツ下の日本人の姿、現代ドイツの「記憶の文化」などをテーマにした教材制作を企画します。

【２】事業計画

1. 教材の制作及び提供事業

1-1 ）オンラインミュージアムを制作し公開する。

・「ヘディの物語」

これまでに制作したオンライン教材

「アンネとまちよと希望のバラ」(2018 年)

「ヤーノシュの物語」(2019 年)

「記憶の文化を育む」(2020 年)

「世界に向かって叫べなかったことを わたしたちはここに埋める」(2022 年)

2. 書籍・資料などの収集及び提供事業

2-1 ）書籍や映画の紹介 -ブログや SNS を活用し、新着図書やおすすめ図書を紹介する。

3. 講演会、セミナー等の開催事業

3-1 ）訪問授業

新型コロナウィルス感染の状況を考慮しながら、学校や自治体、地域グループなどを対象に実施していく。2023 年 6 月現在で東京、鳥取、愛知、三重、岩手などからすでに依頼を受けている 20 回を含め、実施する。

3-2 ）主催事業

オンラインを活用して、遠方の会員にも参加していただける機会を継続して作っていく。また、学生や教育関係者など対象を絞った参加型のワークショップおよび教員研修と誰でも参加できるイベントを開催する。

3-2-1 ホロコースト記念日(ヨム・ハショア)のイベント開催

国連制定の国際デー(1 月 27 日)に対して、ユダヤ人にとってのホロコースト記念日である 4-5 月に犠牲者の側の視点で歴史を学ぶイベントを開催する。今年はワルシャワ・ゲットー蜂起 80 年の節目にあたる 4 月 19 日に音楽と講演の集いを開催

3-2-2 問いづくりワークショップ

一人ひとりの発問を平等に尊重する民主的なルールのもと、学習者が主体的に考え、対話する問いづくりワークショップをこれまで計 36 回開催し、649 名の参加者を迎えた。今年度も継続して開催する。

3-2-3　ホロコースト国際デー2024 の開催

国連制定の「ホロコースト国際デー」(1 月 27 日)に(または前後に)講演会(第 10 回目)を実施する。

3-2-4　その他

上映会「Three Minutes: A Lengthening」(69 分)

ある旅行者がポーランドの村ナシェルスクに立ち寄り、村人たちをホームビデオで撮影した。時は 1938 年。翌年、ナチ・ドイツがポーランドに侵攻し、村人たちは殺害される。3 分間の映像から、かつての村人たちの姿を探求する。

4. 人権・平和教育に関する普及啓発事業

4-1) Kokoro 通信の発行

Kokoro の活動報告やホロコースト教育に関連するニュースを掲載した通信を発行する。会員を中心に配布する。

4-2) Kokoro メルマガの発行

Kokoro の活動報告やイベントの案内などを掲載したメールマガジンを発行する。

4-3) SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の活用

Facebook や Twitter、Instagram を活用して歴史を身近に、自分事に感じてもらえるような情報発信を行う。大学生インターンによる Instagram@kokoroyouth での発信を継続して行う。

【3】事務局関連

大学生インターン第 5 期生(6～11 月)と第 6 期生(11～2024 年 3 月)の受け入れを実施する。オーストリア海外奉仕プログラムとのパートナーシップによりボランティア生を受け入れる。

2023 年度　活動予算書

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人　ホロコースト教育資料センター

(単位:円)

科目		金額		
Ⅰ　経常収益				
1. 受取会費				
正会員会費収入	30 名(@5000)	150,000		
賛助会員会費収入	70 名(@3000)	210,000		
		0	360,000	
2. 事業収益				
教材の製作・提供事業		10,000		
書籍資料の収集・提供事業		0		
講演会開催事業		2,500,000		
普及啓発事業		10,000	2,520,000	
3. 受取補助金等				
		500,000	500,000	
4. 受取寄付金				
受取寄付金		2,000,000	2,000,000	
5. その他収益				
受取利息		300	300	
経常収益計（A)				5,380,300
前期繰越収支差額				35,123,123
収　入　合　計　(B)				40,503,423
Ⅱ　経常費用				
1. 事業費				
(1)人件費				
給料手当		2,016,000		
法定福利費		0		

役員報酬	0		
報酬手当	220,000	2,236,000	
(2)その他経費			
売上原価	50,000		
旅費交通費	280,000		
家賃	529,200		
水道光熱費	28,000		
通信運搬費	294,000		
消耗品費	70,000		
租税公課	0		
会議費	3,500		
写真コピー代	3,500		
新聞図書費	7,000		
保険料	0		
賃借料	3,500		
支払手数料	50,000		
雑費	3,500		
諸会費	0	1,322,200	
事業費　計		3,558,200	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	1,014,000		
法定福利費	500,000		
報酬手当	130,000		
役員報酬	0	1,644,000	
(2)その他経費			
家賃	226,800		
水道光熱費	12,000		
旅費交通費	120,000		
通信運搬費	126,000		
消耗品費	30,000		
租税公課	70,000		
会議費	1,500		
写真コピー	1,500		
新聞図書費	3,000		
賃借料	1,500		
支払手数料	50,000		
福利厚生	5,000		
諸会費	0		
雑費	1,500	648,800	
管理費　計		2,292,800	
経常費用　計			5,851,000
当期正味財産増減額			-470,700
前期繰越正味財産額			35,123,123
期末正味財産合計額			34,652,423